



## 【今週の暗唱聖句】あなたがたは、世界の光です。マタイ 5:14

●本日の言葉はご存知のように、  
13節 **あなたがたは、地の塩です。**  
とセットです。ここで大切なことは  
クリスチャンは「地の塩・世の光」  
になろうと努力する存在ではない  
ということです。主はクリスチャンと  
は「地の塩・世の光」そのものなの  
だと仰っているのです。主イエスが  
問題にされるのは役に立っているか  
否かです。ゆえに役に立たない者を

「塩気を失った塩」とか「升の下」  
とか言われるのです。神は私たちを  
敢えて人間社会の暗闇と腐敗の只中  
に置かれ、そこで役割を果たすよう  
期待されます。様々な問題や困難、  
人間関係の大変さの中に放り込まれ  
たと感じたなら「仕事」タイムとい  
うことですね。必要な力や知恵は主  
が必ず下さいますから、先ず心を静  
め祈ることから始めることです。■

### 【デボーシヨンの確立・・・中だるみの時】

●日々のデボーシオン、聖書通読はいかがでしょうか。毎日聖書に親しむこ  
とは大切なことでありながらスケジュール通り読めないこともしばしば出て  
きます。そうすると、いつの間にか、神様と交わり、御言葉に聞くというデ  
ボーシヨンの目的からそれてしまい「通読表の色塗り」が目的になってし  
まったりします。こんな時こそ忘れないほしいことがあります。それは聖書  
が読めていない自分を責めない、ということです。「恵みの雨」2月号(p4)  
にステイブ・マクベイ先生という方のこんな記事が紹介されていました。

「聖書を読もうとしても全然読む気になれないんです。」と言う女性がい  
ました。「でも毎日読まないと、心が責められるんです」と言うのです。

「もし何日も聖書を読まなくても、神様はあなたを愛していますよ」と私は  
言いました。「食べないと、罪悪感を感じるよりもおなかがすいてくるで  
しょう？聖書を読むのも同じですよ。たとえこれから一生聖書を読まなくて  
も、神様はあなたを愛していますよ。あなたが罪悪感を覚えることを、神様  
は喜ばれません。だから、どうぞ『もう一生聖書を読みたくありません』と  
神様に祈ってみてください」。そう言ったら彼女は「そんな祈りはできません  
」と言って黙ってしまいました。「どうしてですか？」と聞くと、「聖書  
が読みたくなくなってきたんです」(笑い)。

彼女はそれまで義務感で読んでいたのです。「聖書を毎日読まなければなら  
ない」ということから解放されると、かえって読みたくなるものです。朝  
ご飯を抜いても神様は怒りません。おなかが空くまで待っていてくださる。  
それが恵みです。

●もちろん規則正しい食事が大切なことは誰もが知っていることであり、聖  
書にも神の恵みを放縱に変えてはいけないと警告があります。しかし恵みが  
土台であり神のあなたに対する愛はなんら変わらないのです。■

## 【先週のMESSAGEより】

### バベルの塔 創世記11章、使徒2章

●高ぶりと恐れ／義人ノアの子孫であるにもかかわらず人類は再び神に対して高ぶりをあらわにする時代に入った。天に届く塔を建て「名を上げよう」とする言葉に高慢が現れている。ところが高慢には恐れがセットでついて来る。人々は、



神がノアとその家族、動物たちを守ったという事実を忘れ、散り散りになることを恐れて「地を満たせ」との命令に逆らった。●一つの民、一つの言葉／言語の能力は神が人に与えた最大のプレゼントでありながら、善にも悪にも使うことのできる、もろ刃の剣でもある。高慢と自己中心が人間を突き動かす原理である時、大勢の人々が共有する言葉は破壊的な力を持つことを神は既にご存知であった。現代社会の共通語の「英語」はあらゆる分野の学問の前進のみならず、人間の罪と悪の急速な進行をももたらしていることを考えていただきたい。●言葉の混乱は神の憐れみ／言葉が通じないことで国々ができていったことを10章は述べている。バベルの塔での言葉の混乱により、自滅へ急ぐ人類にブレーキがかけられたのである。自分も他人も同じように罪深く、自己中心な存在だと知っている人間は当然、言葉が通じない他のグループに不信感を抱く。国家間の緊張はそのような仕組みから生まれる。しかし実はこのような不信感はいろいろな意味で罪の進行を遅らす役割をも果たすのである。農業や産業を発達させ、軍備を増強し、教育を盛んにし、統制を整えることなしに敵国に勝てないからである。●神は人類の自滅を遅らせ、救いの道を備えられた／神が言葉を混乱させなければならなかった程、人類の罪は深刻であり、破壊的な力をもつが、神は人類の罪の進行を遅らせつつ、人類の救済の道を整えられ、実際にイエス・キリストにおいて成し遂げ、滅びる前に神に立ち返る機会を世界中の人々に与えて下さっているのである。●ペンテコステ・第二のバベル／バベルの塔での言葉の奇跡の再来がペンテコステであるが、今度は人々を散らすためではなく、人々をキリストにあって一つとするために神が行われたことである。■

## 【今週の英語】 Adrian Rogers より

It's better to be hated for telling the truth than loved for telling a lie.

Knowledge comes from looking around; wisdom comes from looking up.

嘘をついて人に慕われるよりか、真実を言って嫌われる方がまし。知識はまわりから得ることができるが、知恵は上から来る。■

